

# 鉄道を利用させない鉄道会社

## 国労ちば

国鉄労働組合  
千葉地方本部  
発責 加藤 晃一  
編集 高橋 弘幸  
【電話】  
JR 2930 FAX 2934  
NTT 043(238)5963  
FAX 043(238)5967

国労加入で  
ハラスメントのない  
職場作りを!!

### 利用者をないがしろにするJR

6月1日から、佐倉駅信号所の廃止と、御宿駅及び小見川駅の「みどりの窓口」閉鎖の合理化施策が行われようとしている。

#### 佐倉駅信号所廃止

佐倉駅は千葉から来て、成田線と総武本線に分岐する駅だ。電留線も備えていて、列車の分割・併合も行なう。さらに成田エクスプレスのルートを受け持つ重要な駅だ。そんな佐倉駅の信号所を廃止し、代わりに成田指令が業務を担当するという。

#### 成田指令の現体制では対応は困難

成田指令は指令長を除き3名体制で順序変更等の入力・無線通告・駅とのつなぎを行なっている。成田線の目玉である成田エクスプレスは色々な線区から乗入れてくるため、千葉

から遠い所で起きた事象でも影響し遅れることが多く、成田指令は普段から大変な職場だ。現在、輸送混乱時は、順序変更や着発線変更等の入力は佐倉駅信号所で行なっている。複雑な佐倉駅構内の運転整理は難しく、現在の成田指令の体制では異常時の早期回復は困難になるのではないかと疑問視される。

一方、保守用車のルート構成など指令で出来ない箇所を駅が行うことになるようだが、佐倉駅では信号担当が慣れぬ社員が取扱うようになる。また、駅の分割・併合作業があるため、駅の要員が削減されると負担が増大する。準運転取扱駅になるが信号担当がいらないなど、疑問・不安が付きまとう。

#### 小見川駅は近隣で唯一の重要な駅

「みどりの窓口」の廃止提案された小見川駅は、銚子駅から成田線の電車に乗り松岸を過ぎると4駅も無人駅が続いた先にある、さらに2駅先まで無人駅という地にある。小見川には高校が有り、また茨城県とを結ぶ橋があるため、茨城県から千葉県へ・千葉県から茨城県へ利根川を越えて通勤・通学する人も多く、指定席券や通勤・通学定期券が買える唯一の駅だ。

会社は「お客さまの期待に添えるサービスを提供する」「地域の皆さまに愛される駅づくりを目指し安心して鉄道を利用していただく」と謳っているが、小見川駅では先日もホームのトイレが廃止されるなど実際は真逆の施策が行われている。どのような理由で今回の廃止提案となったのかキチンとした説明を求め

たい。苦情の矢面に立つのはいつも現場の社員だ。定期券や乗車券、各種販売品や払戻しなどどう取扱いていくのかの説明も然りだ。

そして利用者への対応はどうするのか、近い佐原駅まで3駅で営業キロは12・7km、反対側の銚子駅までは6駅で営業キロは25・9kmある上に電車の本数はまばらだ。定期券や企画乗車券など買

### 更なる合理化提案

4月26日、JR千葉支社は国労に対し、柔軟な働き方の実現について、稲毛・四街道・銚子・新木場・五井駅の窓口閉鎖と体制変更、亀戸・八街・大網・上総一ノ宮・酒々井駅の「みどりの窓口」営業終了（要員変更無し）、錦糸町・船橋・津田沼・千葉・新浦安・成田での営業統括センター新設と体制の見直しを提案された。

また「変革2027」の実現に向けて、幕張車両センター・京葉車両センターの首都圏本部への再編、千葉保線設備技術センター・千葉建築設備技術センター・

に行ってくるだけで半日を潰してしまう。この鉄道会社は鉄道を利用させないための施策を取り組んでいるのか。さらにこの記事を書いている中、4月26日付で出されたJR千葉支社の発表では、銚子駅の「みどりの窓口」まで廃止するという。

利用者をないがしろにするJRの施策には開いた口が塞がらない。

### 合図燈

ロシアによるウクライナ侵攻から約2か月が経った。未だ戦闘の終結の見込みは立たず、連日悲惨な状況が報道されている。一日も早い停戦（終戦）を願うばかりだ。日本固有の領土である北方領土でも日本を恫喝するように軍事演習を始め、天気の良い日には目視できる距離の地元の方々は不安でいっぱいだろう。他方、永田町ではこの侵略に乗じて「戦争ができる国」づくりの大合唱が起こっている。岸田首相は「敵基地攻撃能力の保有検討」を繰り返しているがそれはかつて議論されていたものとは全く違うものだ。危機に乗じて憲法9条を改正し日本を「軍事対軍事」の危険な道に引きずり込もうとしている。我々労働者は冷静に考えて永田町の論理に流されることなく行動していかなければならない。そして国連憲章に基づきこの危機の平和的解決を求めていこう。争いからは何も生まれない。反戦平和の連帯を（正）



# 不採用通知が出された日は今も忘れられない

## 江戸川地区労働組合センター学習会

3月31日、江戸川区「タワーホール船堀」にて江戸川地区労働組合センター主催の学習会が開催された。

明日でJ.R発足35年という節目を迎える中、「駅の実態について」と題し、国労千葉地本北嶋書記長が講師を務めた。

何故若手に組合意識が浸透しなかったか  
主催者を代表して石井議長より「若手社員を中心に365日定刻で帰れる人はほとんどいない。私の保線職場では23名中、国労組合員が4名。他は労働組合未加入。その為か、会社の施策がそのまま通過してしまう。J.R発足35年を迎え、国鉄時代から体を張って皆で闘ってきたが、J.R世代の若手には、組合意識が浸透しなかった。『何が悪かったのか?』総括しながらあきらめずに頑張っていきたい。この学習会が何かの役に立つとありがたい」とあいさつがあった。

J.Rの合理化施策  
の中での労働者と安全・サービスは!?  
北嶋書記長は、切符に鉄(ハサミ)を入れるていた時代から自動改

# 日本の平和と民主主義を守るのは自分たちだ 3・26憲法講演会



3月26日に京成労働会館で「3・26憲法講演会」が行われた。

主催者あいさつその後1000人委員会世話人の勝島和博さんが「改憲」「沖縄」「ロシアのウクライナ侵攻」

のについて講演した。民主主義はく奪戦争参加の脅威が改憲問題では、衆議院では改憲勢力が3分の2超を占めている。来る参議院選挙では護憲派議席の拡大を。沖縄問題では、復帰50年を迎えたが、米軍施設の集中・日米地位協定・名護市沿岸部でのオスプレイ墜落現場への立入り規制など、自由・平等・人権・民主主義がはく奪されている現状がある。ウクライナ問題では、日本での「核共有」議論の浮上。

どこで旅行を手配すればよいのか」といった声を含め、J.R東日本がどのようにして安全やサービスを確立させてきたのかを述べた。

参加者からは「話を聞いて驚いた」「国労としてJ.R利用者にとって訴えてきたか」との意見や質問が出された。

北嶋書記長は「地本として地区別集会を開

催し、問題解決を目指している」「1987年2月16日はJ.R不採用通知が出された忘れられない日だ。その意味を込めて毎月16日を駅頭宣伝行動日として活動している」と回答した。

話を聞く中であの時代を思い出された参加者もあり、次世代へ受け継いでいきたい学習会であった。

「ピリヨク」だけでなく「ムリヨク」じゃない  
高校生平和大使のサ  
武器輸出三原則の撤廃と防衛装備移転3原則の決定・武器の共同開発の自由化・ウクライナへの防衛装備品の無償提供など平和憲法が脅かされ、戦争参加への脅威が迫っていると訴えた。

最後に植竹事務局長が「ロシアのウクライナ侵攻を機に日本では憲法改悪・核共有論が出されている。軍隊があっても命は守れない、戦争をさせ

ない・起こさない認識を多くの人にもってほしい。参議院選挙があり沖縄では知事選も行われる。平和憲法を守るため様々な取り組みをしていく。日本の平和と民主主義を守っているのは自分たちだという気概を持って活動していこう」と、まとめ閉会となった。

憲法講演会の前段に、再び戦争をさせない千葉県1000人委員会の第6回総会が開催された。方針案では憲法改悪を阻止し、平和と民主主義を守る取り組み、平和運動の推進、核兵器廃絶・脱原発への取り組み等が提起され、全体で方針を確認した。

**職場実態討論集会**  
日時：5月14日13時30分～  
場所：千葉県文化会館聖賢堂  
(本千葉駅下車：千葉城そば)

最後に植竹事務局長が「自分たちの運動が日本の平和を守っているという気概を持って取り組んでいこう」とまとめ閉会した。